

ペット館ニュース8月号

アクアニュース

今年は梅雨明けが例年と比べてだいぶ遅くなりました。やっと明けましたね。ここで心配なのが急激な気温上昇によりいろいろな影響が心配されます。水替えのタイミングや水温管理しっかりと行ってまいりましょう。世間もコロナの影響で毎日が大変な状態ですが、こんなご時世だからこそペットが果たす役割が大きいと感じます。癒されている事を感謝しつつ、しっかりとお世話していきましょう。

鳩 宿 8月に入り3月から展開してきた「青仔」ですが今年も無事終了を迎えました。今後は「当歳魚」が主流になり、また、「親魚」と呼ばれる三歳魚も出品されます。あと1・2回は何らかの青仔が入ってくる予定です。当歳魚は半年から1年未満を指しますがこの時の楽しみ方は青仔の育てる楽しみから選ぶ楽しみ方に替わります。体格もしっかりしてきているので将来性がしっかりわかるのが特徴です。価格は700円~1500円と高めになってきますがその分、色、体型が分かりやすく自分好み追及できます。餌も1日2回から3回を目指しましょう。夏は水温も上昇するので極力涼しい環境を維持してください。水温が上がると餌食いがよくなり、ついつい1回の餌やりが多めになり、急激に肥大化(肥満)する恐れがあるので気をつけましょう。当歳魚も各養魚場にいるスタッフが厳選しているので楽しみです。今後はらんちゅうやその他の当歳魚、見逃せませんよ。

坂 上 今月も引き続きクワガタニュースをお届けします(^-^); 今回は「クワガタ・カブトムシ採集」についてお話しします。まず、簡単なのは水銀灯や自動販売機、地方のコンビニの灯などに飛んでくる虫を捕まえることです。狙い目は、近くに照葉樹林やクヌギの林がある場所に近ければ確率が上がります。また、月が明るいライトには集まりにくくなるので月が出ていない夜が限定となります。私、坂上は坂之上周辺に住んでいますが、何力所か近くにクワガタやカブトが飛んでくる水銀灯などがあります。夜間の採集なので、車などに気を付けてください。次に狙うのはクヌギの木を見つけて樹液での採集です。でも、樹液にはスズメバチなどの危険な生物も集まるので十分に気を付けての採集となります。このように採集には危険も伴うので、一番簡単で安全なのは『きたやま』でご購入でしょうか?(笑)

益 満 梅雨も明けて本格的な夏が始まりそうですね。じめっとした暑さではなくさっぱりとした暑さになるのは嬉しいですが、外でメダカを飼っている方は気温が気になってくるのではないのでしょうか?メダカが生存できる水温の目安は2℃~35℃と言われています。しかし最高35℃というのはあくまでもメダカが生きられるギリギリの水温であり、30℃を超えてしまった時点でほとんどのメダカが弱り元気がなくなったり、産卵をしなくなったりします。メダカは日当たりの良いところのほうが元気に育つのも確かですが、これから気温が上がる時期には要注意で見てあげてください。水温上昇の対策として、簡単なものではすだれなどが人気です。すだれは日陰ができるのと同時にすき間もあるので風通しや光の入りも悪くなりません。また、浮き草も日光を反射してくれるので水温上昇の対策が出来ます。あとは、水温上昇に伴って水も痛みやすくなったり、蒸発して水がすぐに減ったりしますので水替えやエサのやりすぎなどにも十分注意してあげましょう!